



第32号

令和元年10月25日

かしま 議会だより



献穀事業「抜穂祭」井寺地区

目次 Contents

9月定例会

9月定例会 2～3

町政のここが聞きたい一般質問(5名) ... 4～7

常任委員会活動報告・人権研修会 8

一部事務組合議会報告・主な議会活動 ... 9

令和元年 第3回 9月定例会 9月2日～6日

報告ほか、条例改正、補正予算、決算認定など24件が提案され、全案件可決・認定しました。また、追加提案された同意案1件についても同意しました。

報 告

- 平成30年度決算に基づく健全化判断比率の報告について
 - ・地方公共団体の財政の健全化の基準となるもの（実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率など）
- 平成30年度決算に基づく資金不足比率の報告について
 - ・公営企業会計（公共下水道事業、簡易水道事業）の資金不足状況を示すもの

議案審議 可決された案件

- 嘉島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
 - ・地方公務員法等が改正され、令和2年4月1日から会計年度任用職員制度（旧臨時職員・非常勤職員）が導入されることに伴い本条例を制定する必要があるため
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
 - ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い関係条例を整備する必要があるため（会計年度任用職員制度の導入に伴う改正）
- 嘉島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・住民基本台帳法施行令等の一部改正に伴い令和元年11月5日から旧氏による印鑑登録を行うことができるよう本条例の一部を改正する必要があるため（旧姓を使用して活動する女性が増加しているため）
- 嘉島町都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・災害公営住宅地内に設置された公園が町に譲渡されることに伴い本条例の一部を改正する必要があるため
- 嘉島町下水道条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・消費税率が令和元年10月1日から10%に引き上げられることに伴い本条例の一部を改正する必要があるため
- 嘉島町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・子ども・子育て支援法の一部が改正され、幼稚園の保育料が無償となることに伴い本条例の一部を改正する必要があるため
- 嘉島町町道の路線認定について
 - ・災害公営住宅地内に設置された道路を町道として認定するもの
- 上益城広域連合の処理する事務及び規約の一部変更について
 - ・広域連合の処理する事務に、一般廃棄物処理施設の設置に関する事務を加えるもの
- 令和元年度嘉島町一般会計補正予算（第2号）
 - ・既定の歳入歳出予算の総額に2億6,864万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を58億736万2千円とするもの

○令和元年度 嘉島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

・既定の歳入歳出予算の総額に1億5,822万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を12億6,402万円とするもの

○令和元年度 嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）

・既定の歳入歳出予算の総額に26万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を48万4千円とするもの

○令和元年度 嘉島町介護保険特別会計補正予算（第2号）

・既定の歳入歳出予算の総額に6,603万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億9,212万5千円とするもの

○令和元年度 嘉島町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

・既定の歳入歳出予算の総額に78万円を追加し、歳入歳出予算の総額を5億5,816万9千円とするもの

○令和元年度 嘉島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

・既定の歳入歳出予算の総額に367万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億2,824万3千円とするもの

○令和元年度 嘉島町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

・既定の歳入歳出予算の総額に230万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を8,130万8千円とするもの

認定議案 認定された議案

○平成30年度 嘉島町一般会計歳入歳出決算

○平成30年度 嘉島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○平成30年度 嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算

○平成30年度 嘉島町介護保険特別会計歳入歳出決算

○平成30年度 嘉島町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

○平成30年度 嘉島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

○平成30年度 嘉島町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算

平成30年度 決算状況（一般会計・特別会計）

（単位：千円）

会 計 名		歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引額
一 般 会 計		5,747,948	5,215,618	532,330
特 別 会 計	国民健康保険	1,197,993	1,029,770	168,223
	住宅新築資金等貸付	464	100	364
	介護保険	895,340	818,628	76,712
	公共下水道事業	766,069	731,611	34,458
	後期高齢者医療	124,567	119,697	4,870
	簡易水道事業	20,368	19,727	641

同意案件 同意された案件

○教育委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて

・西田 良一 氏（再任：上島）



満田 和浩議員

□ 上島蔵園地域の開発は



問 上島芝原土地区画整理事業の
保留地販売については、23区画
に397件の申し込みがあり、これま
で取り組んでこられた企業誘致、土地
区画整理事業等の成果だと思われます。

定住促進を進めるうえで、人口増加に伴う土地需要が予想される中、隣接する蔵園地域は未整備の農地で、周囲が開発された中での営農活動は益々厳しくなると思われます。

今後、この地域の開発の計画はあるのか。

答

(町長)

町政報告の中でもふれましたが、芝原土地区画整理事業においては多くの皆さんに応募頂き、それだけ本町に注目頂いている事は大変有り難く思うところ です。『活力とうるおいに満ちた田園文化都市 住んで良かった水の郷嘉島』を目指し、皆様と一緒に一歩一歩進んで参りました結果の表れだと思ひますし、2040年の人口減少

社会を迎えるうえでも、本町の賑わいを止めることの無い様に進めて行くことが必要ではと思っています。

都市計画法に基づく市街化区域区分の定期見直しが10年に一度となっており、芝原地区が平成27年5月に市街化区域編入が決定されておりますので、令和7年5月頃が市街化区域編入と併せて土地区画整理事業の計画ができるのではないかと考えております。

蔵園、町下で8.3ha程の面積がございます。併せて令和4年度には、東部台地土地区画整理事業「ゆうすいの杜」の第一期として5haの区画整理で、7区画のうち36区画の保留地販売を予定しております。それまでには、開発予定面積や区画整理事業などを考慮した、社会基盤の整備として保育園、小中学校など受け皿の整備計画も必要ですが、令和4年度初旬には、地権者、耕作者の皆様へ協力をお願い、意向調査など早めに準備を進めるなと思っていますので、議会議員の皆様のご協力も併せてお願いするものによ。



春日 堅一議員

□都市計画道路鯉森崎橋線の進捗状況は



問 都市計画道路鯉森崎橋線に
ついては、事業着手に向け
た説明会が3月に実施されました。
鯉地区は狭隘道路が多く、計画が進
行することで、集落内の活性化はも
とより、災害発生時の避難や救護活
動の道路として、防災・減災に大き
く前進すると思います。

また、住宅の再建や新築計画をされる中でも、道路計画を早めに示すことが必要と思われます。

今年度、調査、評価に伴う予算措置されているが、現在の進捗状況は。

答

(都市計画課長)

都市計画道路鯉森崎橋線は、昭和56年12月18日に都市計画決定され、38年が経過しています。西部土地区画整理事業組合が平成10年3月に解散されるまでに、都市計画道路鯉森崎橋線が90m整備されましたが、残りの延長約610mの整備について

ての事業を引き継いだところですよ。

以前より、事業着手の方策等について、県と協議を行っていました。もともと土地区画整理事業と都市計画道路を行う計画での市街化区域編入でした。既存の土地区画整理事業の評価を行ったうえで、事業計画の見直しを行うことが必要との意見により、「都市計画道路鯉森崎橋線整備手法検討業務」として、発注を行っています。

今後は、地域の方の意見聴取や資料作成ののち、地元説明会を経て、都市計画変更図書の作成を行うこととしていきます。

（春日議員）

この事業は、町民の生命・財産を守り、安全で安心な暮らしを実現するために重要な事業と考える。引き続き早期実現に向けてご尽力賜りたい。



園田 義宣議員

□ 実効性のある 自主防災組織の育成を

□ 認定こども園の定員は

問

嘉島町地域防災計画の中で、自主防災組織の編成やリーダー育成の必要性が述べられている。災害時には、消防団や行政による「公助」だけでなく、地域住民同士で助け合う「共助」と自分の身は自分で守る「自助」が重要だと言われている。

そのためには、防災に関する正しい知識を習得し、災害への備えや災害発生時の適切な行動を可能にするため、熊本県では、防災士養成のための火の国ぼうさい塾が年1回開催されている。個人で防災士資格を取得するためには、6万円以上の費用がかかるが、火の国ぼうさい塾を受講できれば約1万円の費用で済むことになる。

募集定員枠が定められていて、市町村推薦枠と一般枠があるが、市町村推薦枠はどのような人選をしているのか。また、自主防災組織育成のために、どのように取り組んでいるのか。火の国ぼうさい塾の募集要項を広報紙に掲載し、広く周知することを検討してはどうか。

答

(総務課長)

「火の国ぼうさい塾」の市町村推薦枠の人選については、まず現職の自主防災会会長である区長さん。次に自主防災組織が推薦する方の順で優先順位を定め人選しています。

自主防災組織育成のための取り組みについては、年度当初の嘱託員会議において自主防災組織に関する説明を行い、資機材の点検や備蓄品整備等の通常における準備や、避難訓練及び役員間での情報伝達訓練等の計画策定に関する啓発。また、研修会の案内や県に対し自主防災組織活動支援員の派遣依頼を行う等の取り組みを行っており、今年度は派遣希望がありましたので、依頼しているところで

募集要項の周知につきましては、広報誌やホームページに掲載する方向で検討して参ります。

問

7月に公募された運営法人募集要項によれば、認定こども園の募集定員は105名程度となっており、現在の嘉島幼稚園の定員の105名と同じである。幼稚園事業の定員の目安は、現在の半分の45名以下となる。嘉島幼稚園の児童数は定員割れしているものの、微増傾向にある。幼児教育の無償化により、2号認定に移行する園児の増加をどのように算定しているのか。1号認定の子どもを受け入れられなくなるといふ事態は発生しないのか。現在の1号認定の園児が2号認定に移行するだけならば、保育園の待機児童の解消にはならないのではないか。

また、4月以降に園舎の増改築工事が始まった場合、工事関係者等の外部からの出入りが多くなるが、園のセキュリティはどのように考えているのか。

答

(町民課長)

現在の幼稚園入園者数は84名です。公募では、1号認定こどもの3歳児、4歳児、5歳児それぞれ15名の45名と試算しました。

保育所利用希望の相談が多数あり、実際の数字を掴みにくいのが現状です。

そこで、嘉島幼稚園民営化及び幼保連携型認定こども園移行に関する保護者アンケートを実施し、希望割合を出したところ、約半数以上が2号認定こどもへの切り替えを希望する結果になっています。

今後、町、事業者、保護者で構成する、三者協議会を設立し、正式な定員の案を作成し、子ども・子育て会議に諮ったうえで、決定をしていく予定です。

1号認定こどもの受け入れについては、嘉島町で唯一の1号認定の受け入れ施設になるので、しっかり受け入れが出来るような定員設定及び利用調整に努めていきます。

今まで、1号認定こどもの子ども達のみが利用できる施設であったため、今後は2号も受け入れる施設が増えることになり、現在の待機している、3歳から5歳児についても入所可能となります。

また、保育室、調理室の整備が完了することで、幼稚園では受け入れのなかった、0歳から2歳児の定員枠が大幅され、待機児童の解消に寄与することになります。

保育室、調理室の工事時には、園児の安全を第一に考え、警備員を配置し、安全に配慮した工事を実施するように、事業者との協議を進めてまいります。



川野 伸一議員

□ ふるさと寄附金の成果と 今後の取り組みは

問

平成20年度から始まったふるさと寄附金（納税）について、これまでの実績と成果は。

また、今後事業拡大に向けた取り組みはあるのか。

答

（企画情報課長）

ふるさと納税とは、自分の生まれ故郷や、お世話になった地域、これから応援したい地域の力になりたいという思いを実現し、貢献するための制度として平成20年から始まりました。ふるさと納税と言われておりますが、実際には寄附金として取り扱いますので、本町においては、平成20年度に「嘉島町ふるさと応援寄附基金条例」を制定し、寄附金を管理運営しております。

平成27年度に、税額控除の拡充などの制度改正もあったため、本町も町にゆかりのある品を返礼品として

送付を始めました。返礼品取扱後の寄附金実績につきましては、平成27年度が36件の1,318,000円、平成28年度が2,773件の57,098,133円、平成29年度が1,615件の28,212,000円、そして平成30年度は2,306件で36,383,000円となっております。また、活用状況につきましては、過去3年間では福祉の向上に関する事業をはじめ、緊急支援に関する事業等で約77,000,000円を財源として活用しております。

なお、本年3月末現在の積立残高は47,384,206円（利息含）となっております。

今後、本年3月末現在の積立残高は47,384,206円（利息含）となっております。

一昨年から高額の返礼品や地場産品の考え方について問題となり、本年6月から新制度（返礼品の調達費が寄附額の30%以下・返礼品は地場産品・寄附募集の適正な実施の三つの基準に適合した自治体を総務省が指定する仕組み）が始まり、4つの自治体が対象外となったことはご存じだと思います。

今年度の状況は、7月末の時点で37,114,501円となっております。昨年度の寄附額を上回っております。その要因につきましては、昨年度末から返礼品に農産物の取り扱いを始めたことや新制度移行に伴う駆け込み寄附、地場産品としてビールの取り扱いが工場を有する自治体に限られることなどによるものと考えられます。

今後も制度の趣旨を踏まえ、少しでも多くの寄附が集まるようにポータルサイト数の増や新たな魅力ある返礼品の発掘等に取り組みながらふるさと寄附事業を推進してまいります。

各年度別の寄附件数と寄附金額

年度	寄附件数	寄附金額
平成20年度	3件	400,000円
平成21年度	3件	310,000円
平成22年度	5件	510,000円
平成23年度	4件	410,000円
平成24年度	4件	65,000円
平成25年度	3件	85,000円

年度	寄附件数	寄附金額
平成26年度	3件	25,000円
平成27年度	36件	1,318,000円
平成28年度	2,773件	57,098,133円
平成29年度	1,615件	28,212,000円
平成30年度	2,306件	36,383,000円



鍋田 平 議員

- 下仲間・上仲間に路線バスを
- 子ども達を守る防犯カメラの設置を
- 投票率の向上対策は

問

近年、高齢者の運転による交通事故が増えており、今後、運転免許証の自主返納が増えていくことが予想されます。高齢者にとって、公共交通機関の充実、切っても切り離せない問題といえます。

そこで、御幸木部線（交通センター・御幸木部）の路線を利用し、下仲間・上仲間経由のイオンモール熊本を終点としたバス路線を延伸してはどうか。

答

（企画情報課長）

御幸木部線のバス路線の延長が実現すれば、バス路線沿線の住民の方々、特に高齢者の方々にとっての移動手段を確保する方法として、大変有効なことだと思います。

バス事業者によると、当該路線を延長するには、バスが通行できることが前提であり、熊本市側の路線終点御幸木部から加勢川右岸までの生活道路等は幅が狭くバスが通行できる状況にないとのことでした。また、過去にも当該道路拡幅のため、道路用地の取得計画があったものの、取得

できずに現在に至っています。

バス事業の現状については、利用率がピーク時の3割程度に落ち込んでおり経営が厳しく、国・県・市町村が赤字分を補てんし路線バスを存続させており、更には業界全体で運転手が不足しているため、利用者が少ない時間帯の運行を減らす等の対応を余儀なくされているところでもあり、路線の延長は難しいとのことでした。

これらのことを踏まえ総合的に考えますと、バス路線の延長は、非常に難しいと言わざるをえません。今後、町としても公共交通の確保に向けて、バス事業者と一緒に研究を重ねていきたいと思っています。

（鍋田議員）

町補助金の額はどれくらいか。

（企画情報課長）

バス事業者への補助金は、平成28年度が約1,600万円、平成29年度が約1,500万円、そして平成30年度は、約500万円となっています。

平成30年度から令和2年度までの3年間は、熊本地震における国庫補助対象事業の特例として、国・県の補助額が

増えるため、町の負担は減となりますが、令和3年度からは、1,500万円程度の補助が必要となると見込まれます。

問

3月議会において、子どもに不審者による声掛け事案が発生している。犯罪の未然防止や抑制には、防犯カメラを設置することが一番効果的ではないかと質問しましたが、その後、設置計画はどうなっているのか。

答

（町長）

防犯カメラの設置につきましては、町政報告において申し上げましたように設置方法、設置場所等を検討して参りましたが、国において費用の一部が特別交付税により財政支援されることが決定されました。

これに基づき本定例会に、50台以内の設置を考慮予算を計上しております。

なお、予算承認後は年度内に設置を完了し、犯罪の防止及び抑止に取り組んで参りたいと考えています。

問

7月に実施された参議院選挙では、投票率が50%を割り込みました。その要因は様々あると思いますが、期日前投票において手続きが面倒との声もあります。

期日前投票を利用される方が増加する中、投票される方の利便性の向上や期日前投票の受付時間の短縮を図るため、投

票所入場券の裏面に期日前投票宣誓書兼請求書を設けている自治体もあるが、本町としても、投票率向上のため導入する考えはないのか。

答

（総務課長）

期日前投票の宣誓書につきましては、事前記入の方法がありますが、本町では、期日前投票に来られた方から投票当日投票に行けない事由を聞いて宣誓書を作成し、宣誓書に印刷した住所、生年月日を確認していただいて、間違いなければ氏名のみ自書していただくという方法で実施しています。

投票所入場券の裏面を宣誓書として使用した場合、狭いスペースに「注意書」と「宣誓書」を収めることになり、記載の文字が小さくなり読みづらい、また署名しにくい等投票者に対して不便な点が生じる事も懸念されます。

ただ、現状としては、事由の聴き取りから宣誓書の印刷まで多少の時間を要し、待ち時間がありますので、よりスムーズに行うためにも受付体制の充実等を考慮し、極力所要時間を短縮するよう努め、投票入場券の裏面を宣誓書として使用する点についても検討し、投票率向上に向けた啓発や投票しやすい環境づくりに努めて参りたいと考えています。

経済厚生常任委員会所管事務調査

令和元年8月22日(木)

出席者：経済厚生常任委員

(木下・増岡・鍋田・蜂屋)

説明者：農政課長 町民課長

内 容：①嘉島町の農業について

②保育園の現状と今後について

③現地視察

嘉島町の農業について、水田農業の取組み、ブロックローテーション、日本型直接支払制度、担い手の状況、認定農業者、今後の課題、農業委員会の概要、地籍調査事業について、担当課より説明を受けた。

また、子育て世代の転入等による待機児童対応のための、新設保育園等の概要について、担当課より説明を受けた。

- ・新設保育園（おひさまりりー保育園）について
- ・嘉島幼稚園民営化及び幼保連携型認定こども園について



大豆の試験栽培の視察



新設保育園の現場視察

町議会議員人権研修会

演題 「人権が尊重される町づくりのために」

講師：熊本県統括コーディネーター 中川 有紀 氏

9月6日役場会議室において、嘉島町議会議員人権研修会が開催されました。講師の中川有紀さんは、永年、小学校の教諭として勤務され、嘉島西小学校時代は、隣保班単位での同和問題研修会にも参加されていました。現在は、熊本県教育庁統括コーディネーターをされております。



講師 中川 有紀さん

最近の事例により、“自分

の人権を行使することが他人の人権侵害となってはなりません。お互いの人権が調和を持って行使される考えが必要”と強調されました。

また、差別事件等からの学びで様々な人権課題について教育・啓発活動が続ける事、人に寄り添い、考え、判断し、行動する人権感覚を身につけるこの大切さと、何よりも相手の立場に立つ実践・行動を力説されました。

一人ひとりが同和問題について、正しい理解と認識を深めるための有意義な研修でした。



役場会議室

(報告者：満田和浩)

上益城消防組合（境野議員・川野議員）

議会報告 令和元年第2回定例会（令和元年8月7日開催）

専決処分の報告を含む7議案が提案され、原案のとおり承認・可決・認定しました。

- ・上益城消防職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・平成30年度上益城消防組合一般会計剰余金の処分について
- ・平成30年度一般会計歳入歳出決算について（歳入決算額913,405,484円 歳出決算額898,678,594円）
- ・令和元年度一般会計補正予算（第1号）について

益城・嘉島・西原環境衛生施設組合（木下組合議長・鍋田議員）

議会報告 令和元年第2回定例会（令和元年8月23日開催）

専決処分の報告を含む3議案が提案され、原案のとおり承認・可決・認定しました。

- ・熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について
- ・平成30年度一般会計歳入歳出決算について（歳入決算額611,705,423円 歳出決算額569,800,753円）
- ・令和元年度一般会計補正予算（第1号）について

御船地区衛生施設組合（森田組合議長・蜂屋議員）

議会報告 令和元年第2回定例会（令和元年8月26日開催）

決算認定を含む2議案が提案され、認定・可決しました。

- ・平成30年度一般会計歳入歳出決算について（歳入決算額231,450,185円 歳出決算額213,552,370円）
- ・令和元年度一般会計補正予算（第1号）について

上益城広域連合（清崎議員・増岡議員）

議会報告 令和元年第2回定例会（令和元年8月29日開催）

専決処分の報告を含む2議案が提案され、原案のとおり承認・認定しました。また、議長の選挙があり、池田 浩二氏が議長に就任され、監査委員には、宮川 安明氏が選任されました。

- ・熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について
- ・平成30年度一般会計歳入歳出決算について（歳入決算額88,637,972円 歳出決算額82,001,164円）

主な議会活動（令和元年7月から9月まで）

月 日	項 目	場 所 等
7月 8日	町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会（議長・副議長・木下・森田・境野）	グランメッセ熊本
7月10日	九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会熊本・宮崎両県合同理事会（議長） 嘉島町食品衛生協会総会（副議長）	高千穂町 福祉センター
7月18日	例月現金出納検査（春日議選監査委員）	監査委員室
7月20日	おひさまリリー保育園地鎮祭（議長・境野・蜂屋）	井寺
7月26日	緑川森林組合令和元年度通常総代会（議長）	山都町
7月27日	上益城郡消防大会（議長）	嘉島中学校グラウンド
8月 2日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会（全議員）	延岡市
8月 5日	令和元年度熊本県市町村議会正副議長研修会（議長・副議長） 令和元年度一般国道266号三角・嘉島間整備促進期成会第36回通常総会（議長）	自治会館 宇城市
8月20日	例月現金出納検査（春日議選監査委員）	監査委員室
9月 2日～ 6日	令和元年第3回定例会・全員協議会・議員人権研修会	役場議会議場・議員控室・役場中会議室
9月11日	嘉島町敬老会（正副議長）	嘉島町民会館
9月19日	例月現金出納検査（春日議選監査委員）	監査委員室
9月25日～27日	益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会視察研修（木下・鍋田）	徳島県阿南市ほか

みなさんからの写真を募集しています



上島四所神社 子ども相撲



秋の交通安全キャンペーン



嘉島幼稚園 最後の運動会



新設された通学路(上仲間)

募集してます。

みなさんの意見などお聞かせ下さい。
議会だよりの「声」も募集しております。

※次の議会は、**12月**に開催予定です。

議会の傍聴は議会当日に手続きすれば、どなたでも傍聴できます。
「声」の募集や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局まで。(237-1111)

編集後記

9月定例会では、町内に防犯カメラが設置されることになりました。犯罪の防止及び抑制を目的に、通学路等に48台が設置されます。

ラグビーワールドカップ日本大会では、日本人のおもてなしの心に対して世界各国から称賛の声が挙がっていますが、日常生活の中でもお互いがサポートしあう気持ちが大切だと感じました。

議会だより第32号から、裏表紙に「みんなのフォトコーナー」を設けました。嘉島町の四季の移ろいや日々の出来事など、皆さんからの写真をお待ちしています。

発行責任者

議長 清崎輝昭

委員長 川野伸一

副委員長 園田義宣

委員 森田義雄

委員 境野隆文

委員 増岡司

委員 満田和浩